

令和6年度 第2回 介護支援専門員スキルアップ研修 開催要項

テーマ：「ケアマネジャーが直面する倫理的ジレンマについて考える」 ～7つのステップでの思考法～

1 目的

皆さんは日々の業務の中で「倫理的ジレンマ」で悩んだことはありませんか。例えば、判断能力が低下した利用者が今後の居住場所を決定する際、長男と長女の意向が異なる場合に皆さんならどうしますか。在宅生活の継続が困難な状況で、一人暮らしの高齢者がサービス利用を拒否したらどうしますか。また、所属組織の方針が利用者の利益を損なうとしたら、どうしますか。

日々の実践の中で、こうした倫理的ジレンマにたびたび遭遇しているのではないのでしょうか。もしかしらば倫理的ジレンマだと気づかずに「どうしよう」と悩んでいることも多いかもしれません。倫理的ジレンマはケアマネジメントを行ううえで避けては通れないものです。誰もが賛成する正解がなかったとしても、介護支援専門員はそれぞれの状況で最も利用者の利益が反映される専門的判断を下さなければなりません。そのためには、介護支援専門員としての“価値”を理解し倫理的な行動が実践できるように必要な知識や技術を身に付け、資質の向上を図ることを目的としてこの研修会を開催します。

2 主催 久万高原町地域包括支援センター

3 対象者 (1)管内の介護支援専門員及び相談援助職者
(2)地域包括支援センターの職員
(3)介護支援専門員
(4)えひめKUMAの会の会員
(5)その他関係職員

4 受講定員 30名

5 開催日時及び内容

日 時		内 容	講 師 名
令和6年 10月12日(土)	13:00~13:30	受 付	花園大学社会福祉学部 社会福祉学科 教授 福富 昌城 氏 (詳細は裏面参照)
	13:30~17:30	講義と演習 「介護支援専門員の倫理的ジレンマについて」	
令和6年 10月13日(日)	09:00~12:00	演習 「倫理的ジレンマにおける 倫理的判断過程Ⅰ」	
	12:00~13:00	昼食・休憩	
	13:00~16:00	演習 「倫理的ジレンマにおける 倫理的判断過程Ⅱ」	

6 会 場 久万高原町役場2階「大会議室」 久万高原町久万212番地

7 参加費 ￥5,000円
※対象者のうち(1)及び(4)で参加される方は無料

- 8 昼 食 各自でご準備ください。
- 9 申込方法 別紙「参加申込書」に必要事項を記入のうえ、事務局まで e-mail、郵送又は F A Xにてお申し込みください。
- 10 申込締切 令和6年9月30日（月）必着
（受講申込者多数の場合は、お断りさせていただく場合があります。）
- 11 駐 車 場 役場の駐車場をご利用ください。
- 12 新型コロナウイルスの感染拡大防止策について
本研修は重症化リスクの高い高齢者と接する機会が多い受講者が多く参加しますので、ご自身の体調管理を含めて、引き続き感染症対策にご協力をお願いします。
- 13 その他 (1) 主任介護支援専門員更新研修の受講要件 (3) ②に該当する研修です。
(2) 不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。
- 14 申し込み・連絡先
〒791-1201 上浮穴郡久万高原町久万212
久万高原町地域包括支援センター（担当／武知・畝本）
TEL 0892-50-0230 FAX 0892-21-2862
e-mail : takechi-shinya@kumakogen.jp

【講師紹介】



福富 昌城 氏（花園大学社会福祉学部社会福祉学科 教授）

【プロフィール】

社会福祉法人聖徳園、枚方ホームケアセンター勤務の後、京都保育福祉専門学院、滋賀文化短期大学を経て2001年より花園大学勤務

【専門領域】

ケアマネジメント
ソーシャルワーク
高齢者福祉

【主な著書】

「高齢者の自動車運転の継続・中止に関わるケアマネジャーによる運転中止支援」『高齢者の自動車運転に関する報告書』日本老年学会、2024年（分担執筆）
「十訂介護支援専門員基本テキスト」長寿社会開発センター、2024年（編集委員、著）
「小規模多機能型居宅介護の介護支援専門員の事例検討会」『実践ソーシャルワーク・スーパービジョン』中央法規出版、2023年（分担執筆）
「ささえる・つながる・ひろげる 物語（ナラティブ）で学ぶ ケアマネジャーのためのソーシャルワーク実践」第一法規出版、2022年（共編著）
「ソーシャルワークの理論と方法 [社会専門]」中央法規出版、2021年（編集委員、著）
「相談援助職のための事例研究入門」中央法規出版、2020年（編著）
「ケアマネジメント論」ミネルヴァ書房、2019年（共著）
「利用者の思いを映すケアプラン事例集」中央法規出版、2011年（編著）